

第 5 号

1985 HÖYÜ

# 朋友



佼成看護専門学校同窓会

# 第4回同窓会開く!!



去る7月21日、第2回総会及び第4回同窓会が、グイヤモンドホテルにおいて開催された。

今回は特別に、「女性の生きがい」をテーマに、立教大学教授、室俊司講師による講演会も開かれた。

その後、約80人程集まった同窓生らは、昼食をとりながら懐かしい先生方とともに、思ひ出話や近況を語りあい楽しいひとときを過ごした。

## 司会を終えて

1科10期生

桜井芳恵

過日行われた、第三回の同窓会に実行委員として出席し、懇親会では司会を務めさせて頂きました。卒業して4年半、今までの同窓会には、あまり関心がなく、自分が当番の年になって慌てふためいたというのが本音です。

4月末から準備にかかり、10期11期の心細いメンバーと今西先生の6名で力をふりしぼって、7月21日の当日を迎えましたが、連日の電話作戦も空しく、予想したよりも（予定カナ？）同窓生の出席は鈍くて、会場の入り口で首を長くして待つ事、数十分。普段は人待つよりも待たせる方が得意な私、深く深く反省させられました。

それでも忙しい中、集られた先輩、後輩、またなつかしい先生方。渡辺モトエ先生が元気な姿をみせて下さり、「この会に出る為に頑

張りました。」といわれた時は感激してしまい、同窓会ってなかなか楽しいものだと思いをつもらせました。次の期会には、もっと多くの方にお会いできる事を楽しみにしています。



## 近況など

### 狩野華子先生

過日は同窓会にお招き頂き有難うございました。共に学び、ご馳走を囲んでの歓談に心が満たされました。私は佼成を退きましてから高津看護専門学校の設定準備と開校三年程顧問として関りました。その間事を処するに小野田先生なら如何遊ばすであろうか！と考えたものでございました。佼成とは又違った面で勉強させて頂きました。目下専業主婦で家事に取りくんで居ります。聊かゆとりが出来ましたので旅行や観賞を楽しんで居ります。グランドキャニオンやアリゾナ砂漠の事、中国石林の事、ブリアンタ歌舞団来日公演の事、科学万博に三度も出かけた事、あの人波の中で六期生の関さんにひょっこりお会いした事等語れば盡きませんが、紙面が盡きました。佼成病院の皆様には折々お世話になり感謝して居ります。沖縄始め各地に居られる皆様夫々の場に在って心から感謝される存在にならん事を希ってやみません。



## ひとやすみ

1科2期生

### 熊倉和子

私は48年に卒業し、佼成病院に11年間勤務し、昨年の3月に退職しました。いざ病院を離れてみますと、寂しい気持ちもしますが、肉体的にも精神的にもゆとりができ、日中はネコを相手におしゃべりをしたり、庭の草むしりをしたり、現在住んでいる所は墨田区ですので、お休みの日は子供と隅田公園や浅草



までサイクリングを楽しんでいます。同窓会は二度目の出席でしたが、今は丁度皆、出産、子育ての時期で、会いたい先輩、同級生の出席が少なく残念でした。時々、病院で働いていた頃を思い出します。が何年か後には又、白衣を着ることになるのではと思っています。

## Ⅱ科3期生 岡部カツ子

日毎に秋を感じる様になりました。在学中お世話になりました諸先生、同窓生の皆様はお褒りなくお越しの事と存じます。七月行われました同窓会に出席いたしまして卒業以来始めてお逢いした国師先生は少し肥られて大変元気な様子でした。私のクラスのⅡ科3期生は五名出席し担任の狩野先生とテーブルを共にし御馳走をいただきながら学生時代の事、現在の様子など話に花が咲き時間はあっという間に過ぎてしまいました。大変なつかしくすっかり学生時代にかえった同窓会でした。八月同級生の岩下さんがお盆休みを利用して帰京し、私の家を尋ねてくれました。現在医師会の准看護学校で外科看護をおしえているとの事でした。同窓生の皆様が各地で活躍されているお話を聞き大変喜ばしく思います。季節の変わり目ですので皆様お身体を大切にお越し下さいませ。次回同窓会を楽しみにしてペンを置きます。



## 13期生 浜野圭子

7月21日、佼成看護専門学校同窓会に出席させていただきました。

ホテルの中へ一步入ると、あっちこっちで懐かしそうな声があふれており見ていても、快よい感じを受けました。この光景を見ると、やはり同窓会のもつ意義の大切さを改めて思知らされました。



私たち13期生は、まだ卒業して2年めということもあり、佼成病院で働いている人が多いため院内で会うこともあるので同窓会と言われてもまだ実感がわかないような状態です。しかし、5年後10年後には、同窓会の重要さを身にしみて感じると思います。今回、楽しいひとときを過ごさせていただきありがとうございます。

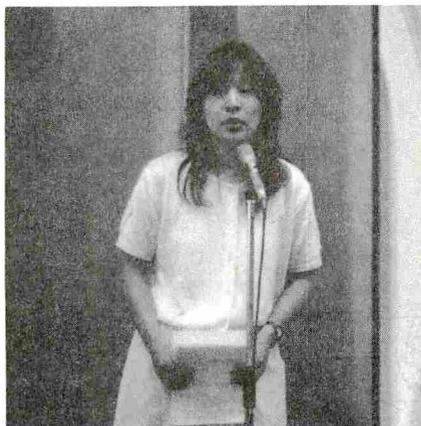
## 1科7期生 広門三千子

佼成病院に勤務していても、なかなか同級生にも会う機会がありません。

同窓会を機会に日頃会えない人や会っていてもじっくり話すことができない人と話してみたいそんな気持ちで同窓会に出かけました。卒業したての頃は同窓会に出てもそれほどなつかしい気持ちにはなりませんでした。しかし卒業して7年も経つとさすがになつかしい気持ちです。会場で1科6期生、7期生を探したのですがみつかりませんでした。1科7期生は、今子供が小さいので遠方から出かけてくるのは大変なのでしょう。そんなことを考えていました。会場では1科7期の人たちに会い、楽しい時間を過ごしました。全々変わっていないけれど子供を連れてきているところだけが以前と違うところでした。

講演会も大変印象深かったです。室先生を講師にむかえ、女性の生きがいについて、お話をさせていただきました。特に室先生のお母様が80才ぐらいで水戸黄門より、ニュースセンターの方がおもしろいという発見をされた

というところを聞いて、楽しみ方は、自分の内にあると教えられました。そんな自分自身の発見がいきるように生きて行きたいと思いました。大変刺激になる講演会でした。今回の同窓会では、7期生に会いたいと思っています。



## 「同窓会の和づくりを…」

同窓会会長 浜田みどり

本年度も引き続き会長としてご推挙をいただきましたが、「朋友」の発行にあたり所感を申しあげ、ご理解をいただければ幸いです。

光陰矢の如しと申しますが、早いもので会長になりました5年が過ぎ、その間のことを振り返ってみますと、何もかも会員の皆様方並びに各クラス委員皆様方の絶大なる御支援のたまものと深く感謝しております。

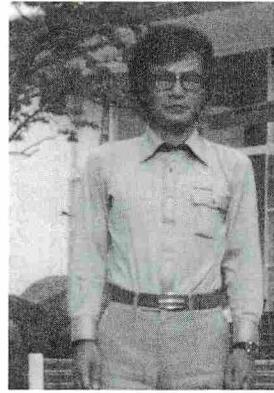
本年はさらに活動をすすめる為のより深い「和づくり」ができ、卒業後の連絡、親睦、に留まらず、職場や家庭にあって直面する様々なお話や問題点等多くの御投稿をお願いしておりますのでご理解とご協力をいただきましたと思います。

七五二名会員の皆様方の一層のご協力をお願い申しあげご挨拶いたします。



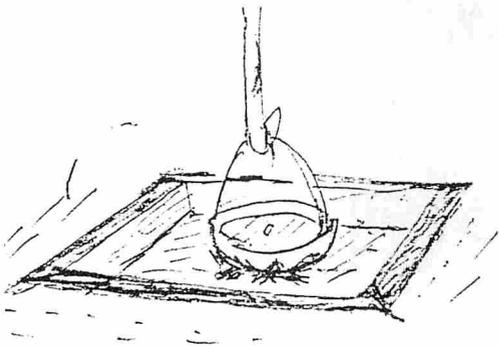
# 懐しのあの先生はどうしている？

## 久保田信之先生



を最優先させて自分の道を探す、ということがなぜかばかげたことのように考えられています。他者を排除し無視してまでも大事にしたいという自分とはなんなのでしょう。看護に関心をもった皆さんこそ、この問題に真険に立ち向かい、ぎすぎすした現代の風潮を改めるよう努力して欲しいと思います。いずれまた、語りあいたいものです。どうぞお元気で活躍して下さい。

同窓会誌「朋友」に寄稿せよとの連絡をいただき、恐縮しています。卒業生の皆さんは、それぞれ立派に成長されておられることと申します。私は、看護学院が創立された時以来、十三年間、教育学および社会学を担当させていただきました。教育哲学を主たる研究領域としている私にとって、看護教育の一翼、をこれだけの期間担わせていただけただけことは、大変素晴らしい経験になりました。人と人との深い心の交わりを基本におき、専門知識・技術を媒介にしながら、相互に影響しあうことのできる看護活動は、広い意味では教育活動であると考えています。相手の身になり、相手の気持ち



# 今、学校で③

## 八重桜

同窓生の皆さん、戴帽式の日のことをおぼえていますか。

暗い中に、ほっと明るいう灯と、スポットライトの中で、看護の象徴である『キャップ』をいただいた時のことを。

感激のあまり、涙があふれ、前が見えなくなってしまうたり、緊張のあまり、手足が動かなくなりロボットのように歩いてしまったり、いろいろありました。

ピンクのワンピースと白いビブエプロンを身につけ、白い靴下と靴をはく。頭にキャップをしっかりとせ、鏡の前に立ち、自分の姿に見いり、一人前になった喜びを感じたものです。

もうすぐその日がやって来ます。11月5日に17期生49名が戴帽式を迎えます。

2年生の作ってくれたユリの花のキャンドルを手に、クラスで考え作り出したキャンドルサービスと、誓いの言葉で、看護の仲間入りです。

# 14期生の紹介



何よりも馬と山が好きでK子。

何をやるにも一生懸命しゃべりまくるO子。

何を考えているかわからないようで、何も考

えていないH子。まるで日本の母の典型の様

なS子。不潔さが容姿を際立たせていたE子。

スタンツになくはならないI子。イベント

では先頭に立たざるを得ないJ子。その影で

のまとめ役だったU子。小さな体に、バイタ

リティーを溢れさせていたY子。僅かなこと

に動揺を隠しきれないO子。どんなことがお

きても顔に表わさないN子。脆すぎるK子。

看護婦にいずれはなることを誇りにしていた

I子。不安だらけだったS子。迷い迷って離

れていったE子。ピンクのビブ・エプロンが

似合っていたI子達。

これが私の愛すべき14期生です。



# 昭和59年度

## 同窓会活動報告

- 4月 16期生入学式 会長祝詞 花束贈呈
- 同窓会説明 八期生祝詞 花束贈呈
- 5月 定例役員会
- 10月 定例役員会 朋友四号発行
- 11月 載帽式 八期生祝詞 花束贈呈
- 3月 14期生卒業 八期生祝詞 花束贈呈

## 募集？

★同窓会の名称を募集しています。  
 わかりやすく、親しみのもてる名称にした  
 たいと思いますので、アイデアを送って  
 下さい。

# 同窓会会計報告

会費納入(郵便振替口座)も皆様の御協力の御陰をもちまして、だいぶ増え、同窓会の運営も軌道に乗ってまいりました。これで、やっと同窓会として一人立ちし、足並揃えて活動できるようになりました。

しかし、残念なことに滞納されている方も少なくありません。どうか今後の本会の発展の為に御協力をお願いします。

つきましては今回も「払込通知票」を同封致しましたので、そこに書かれている金額をお近くの郵便局に御支払い下さる様、お願い致します。尚、前回までの滞納分は、今回の分に加算されますので御了承下さい。また、住所変更・改姓等がございましたら、通信欄に御記入下さるよう、重ねてお願い致します。

## 昭和59年度決算収支報告(S59.4~S60.3)

収入の部	支出の部
前年度繰越金 1,106,751	経費 211,430
同窓会費 553,550	通信費 19,650
16期生 88,000	印刷代 48,440
O・B 465,550	慶弔見舞金 15,000
預金利息 3,610	卒業記念品 108,990 (ペンライト)
	雑貨 220
	委員会運営費 10,630
	同窓会事務処理 バイト料 8,500
	次期繰越金 1,452,481
	現金 28,663
	銀行 131,018
	郵便局 1,292,800
合計 1,663,911	合計 1,663,911

# 役員名簿

役職	氏名(旧姓)
会長	浜田みどり(山下)
副会長	鳥海優子(小野)
書記	齊藤悦子(小長谷)
監査	牧野学美(14)
	荻原実千代(川上)
	遠藤裕子(南野)
	菱沼義恵(1-5)
	島野佳澄

# 学校事務局より

証明書が必要なときは、証明書交付申請書(用紙は事務室に備付)を提出していただくことになっておりますが、遠隔地からの申込みの場合は、返信用封筒に切手の貼付、住所、氏名、郵便番号を記入同封し、必要事項を手

期	科	氏名(旧姓)
1	生	細谷恵美子(神田) 今西潤子(白浦)
2	生	篠原夏子(小沢) 荻原実千代(川上)
3	生	鶴園真理子(南野) 齊藤陽子(須藤)
4	生	遠藤裕子(南野) 塚田陽子(須藤)
5	生	鳥光令子(荒川) 塚田陽子(須藤)
6	生	山田郁代(松岡) 関昌子(高倉)
7	生	小島啓子(小長谷) 坂口隆世
8	生	石田由美(五十嵐) 滝沢初江
9	生	桜井芳恵(久富) 住吉真由美
10	生	石井真由美 堀越佳子
11	生	小尾貴美子 池下靖子
12	生	伊崎久子 浜野圭子
13	生	牧野学美 中村まゆみ
14	生	
1	科	氏名(旧姓)
2	生	小見道子(近藤) 中山絹枝(山本)
3	生	矢部美智子 香水好江 大塚早智子(遠藤)
4	生	柳遥みち子 鈴木加代子(西川)
5	生	村松美邦(板倉) 長壁きみえ
6	生	稲垣由美子(鷲尾) 田地野光江(北川)
7	生	小曾根富美江(小宮)
8	生	朝妻晴美 山口悦子
9	生	井上幸江 大森ケイ子
10	生	相田千秋 新井里枝子

## 編集後記

紙に書いてお申し込みください。なお成績証明書については、提出先へ直送することになっておりますので、返信用封筒には、提出先の所在地、名称などをお書き下さい。

手数料はつぎの通りです。

卒業証明書 一通につき 二〇〇円

成績証明書 一通につき 五〇〇円

送り先 〒166 東京都杉並区和田一ノ三ノ十四  
 校成看護専門学校事務係  
 電話(03)三八四一六一

尚、住所変更、改姓された方は、必ず連絡下さい。郵便でも電話でも結構です。郵便物が時々届き、転送するのに困っております。

同窓会誌「朋友」  
 第五号も無事完成、皆様の御協力まことにありがとうございます。

今回は、同窓会に出席できなかった方にも、懐しんで頂けるよう同窓会特集を組んでみました。現在お仕事を続けている方、家庭に入っている方、遠くにお住みの方にも、この輪を広げるきっかけになればと思っております。次回同窓会には、また多くの方々にお会いできるのを楽しみにしております。(齊藤悦子)

同窓会事務局

〒166 東京都杉並区和田一ノ三ノ十四  
 校成看護専門学校同窓会事務局